

ファルマバレープロジェクト第4次戦略計画検討委員会資料

メディカル・デバイス・コリドー計画の  
取組について

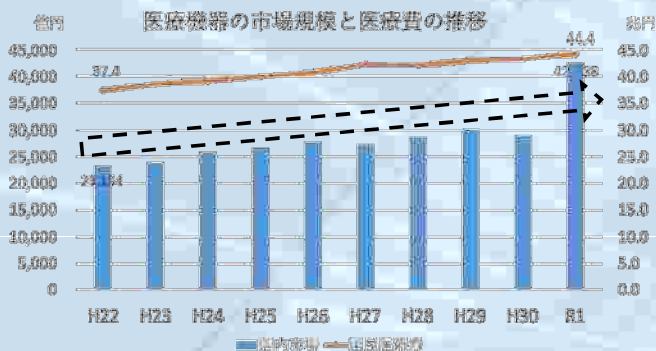


YAMANASHI

令和4年2月  
山梨県 産業労働部



医療機器産業への展開による製造業振興



- 生産用機械器具製造業や電子部品・デバイス・電子回路製造業などの機械電子関連製造業の比率が62% (全国46%)

医療機器産業への横展開を促進

医療機器市場の安定した成長力を山梨県の製造業にビルトイン！

産業名称	付加価値構成比(%)	
	山梨県	全国
食料品製造業	7.6	9.7
飲料・たばこ・飼料製造業	8.4	2.8
繊維工業	1.0	1.4
木材・木製品製造業(家具を除く)	0.3	0.8
家具・装備品製造業	0.3	0.7
パルプ・紙・紙加工品製造業	0.6	2.2
印刷・同関連業	0.8	2.0
化学工業	2.7	11.0
石油製品・石炭製品製造業	0.0	1.2
プラスチック製品製造業	3.9	4.5
ゴム製品製造業	1.0	1.3
なめし革・同製品・毛皮製造業	0.1	0.1
窯業・土石製品製造業	3.2	3.1
鉄鋼業	0.3	3.2
非鉄金属製造業	1.7	2.1
金属製品製造業	4.7	6.0
はん用機械器具製造業	5.2	4.3
生産用機械器具製造業	34.5	7.7
業務用機械器具製造業	4.7	2.5
電子部品・デバイス・電子回路製造業	6.4	5.8
電気機械器具製造業	4.0	6.3
情報通信機械器具製造業	3.5	1.9
輸送用機械器具製造業	3.2	17.6
その他の製造業	1.8	1.6

機械電子関連 62%!

出典：経済産業省 R1年工業統計

## メディカル・デバイス・コリドー推進計画（R2年3月策定）

### 趣 旨

本県機械電子産業の技術力等を活用し、医療機器関連産業を本県の基幹産業となるよう、県内企業の支援等を図ることにより、医療機器産業を、甲府盆地から静岡県東部の医療産業集積地の「ファルマバレー」を結ぶ一帯に集積する「**メディカル・デバイス・コリドー構想**」の実現を目指す

### 計画期間

令和2年度から令和4年度まで（総合計画と同じ）

### 目 標

医療機器関連分野参入企業数 総合計画：61社→100社

R元年度末 71社 → R2年度末 88社 → **R3年10月 106社**

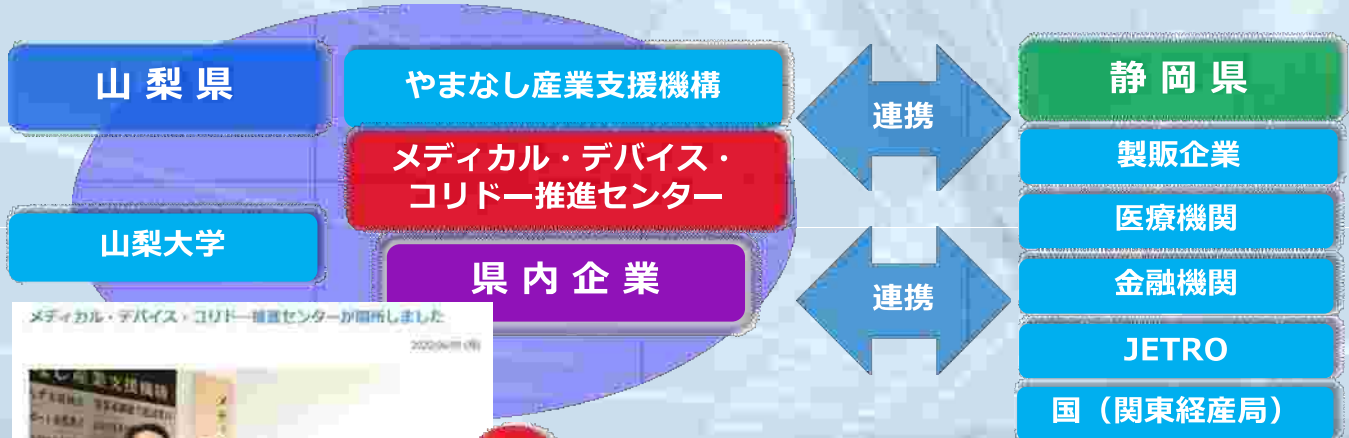
### 計画の柱

- I 支援体制の確立
- II 企業支援策の充実・強化
- III 連携の促進
- IV 人材の確保、育成、情報発信

**!** 当初目標を前倒して達成



## I 支援体制の確立 メディカル・デバイス・コリドー推進センター設置

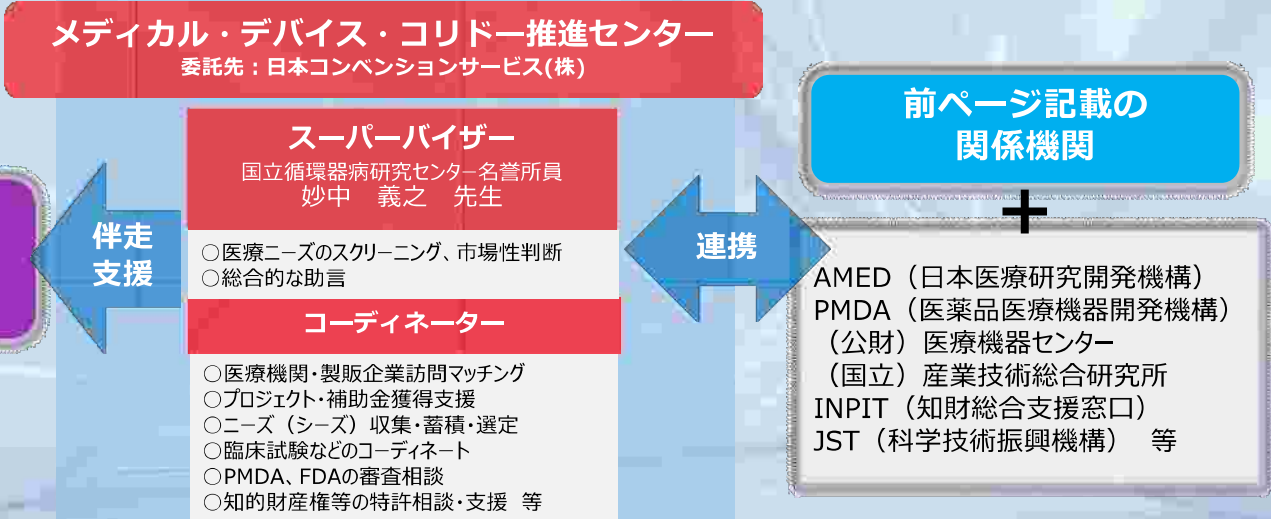


**!** 県内企業支援・関係機関調整の中核的機関として、やまなし産業支援機構内に新設（R2年6月～）



# I 支援体制の確立

## メディカル・デバイス・コリドー推進センターの構成



- ・県内企業を熟知するやまなし産業支援機構職員を加え構成
- ・開発支援に加え部材供給などの支援も重視



# II 企業支援策の充実・強化

## メディカル・デバイス・コリドー推進センター 相談・支援活動

### 相談・支援

県内外の企業からの多岐にわたる相談・支援要請に対し、要望に即した支援を実施

相談件数：R2年度（6～3月）366件（102社）⇒R3年度（4～12月）505件（107社）

	R2累計	R3累計
相談件数	366	505
部材供給（取引斡旋）	123	212
新製品開発・評価	85	108
業登録・許可取得	32	13
販路開拓・拡大	47	77
知的財産権	16	22
人材確保・育成	26	22
資金調達	12	31
技術面	15	7
経営全般（M & A等）	8	4
その他	2	9



- ・コリドー推進センターの認知度向上により、相談件数は昨年度を大きく上回るペース
- ・計画策定時のアンケートでも県内企業の意向が強かった、部材供給を軸とした相談・支援活動

## II 企業支援策の充実・強化

### メディカル・デバイス・コリドー推進センター活動実績（主な実績）

#### ① 部材供給

- 県外中心に発注開拓中、商談成立15件  
例：吸入器用ディスポーザブル製品のOEM受注成立

#### ② 開発支援

- 山梨大学病院を中心に県内医療機関のニーズや県外製販メーカーの開発ニーズの収集を行い県内企業に展開  
例：山梨大学附属病院にて薬剤搬送ロボット実証実験開始

#### ③ 資金調達

- 国や県の競争的資金獲得を含めた、金融面での支援  
例：シンジケート成約20億円（大手メーカーからの新規受注に伴う工場建設）

#### ④ 販路開拓・拡大

- 展示会・商談会のほか、販売促進個別支援を実施  
例：不織布ガウンの大口商談成立



・企業状況に応じた様々な支援を実施



・地域未来牽引企業を中心とした成果創出  
・研究開発機能を有する工場群及びベンチャー企業の成果創出が課題

## III 連携の促進

### 静岡県との医療健康産業政策連携協定締結

- 令和元年12月に静岡県と「医療健康産業政策における相互の連携」に関して協定を締結
- 世界トップクラスの健康長寿地域である両県の医療分野の質の向上と地域経済の活性化を図る

#### 協力事項

- (1) 医療機器等開発に係る医看工連携の推進に関する事項
- (2) 企業のマッチング促進など産学官の交流に関する事項
- (3) 高度な技術を持った医療人材や産業人材等の育成に関する事項
- (4) 人生100年時代を見据えた、健康長寿や自立支援に関する事項
- (5) 企業、大学及び関係機関などへの情報発信に関する事項
- (6) その他医療健康産業の振興に関し、両県が必要と認める事項



・山梨・静岡両県連携の嚆矢  
・ファルマバレープロジェクトとの本格的な連携が開始





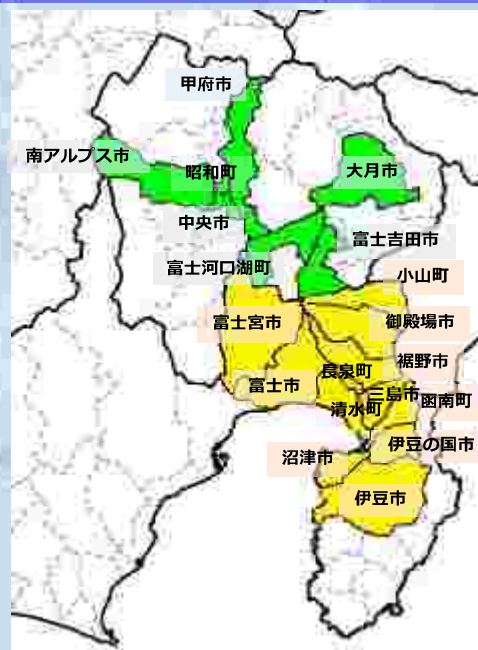
### Ⅲ 連携の促進

## 静岡県連携の進展～本県へのふじのくに先端医療総合特区の拡大

- 更なる連携強化に向け静岡県総合特区の本県への区域拡大を協議
- 研究開発拠点や高い技術力を有する企業等が立地する本県7市町を拡大区域としてふじのくに先端医療総合特区に追加 (R3.4～)
- ファルマバレープロジェクト20年の経験に基づくアドバイスを受けて、両県による革新的ながん診断装置や医療関連製品の開発、産業クラスターの形成を促進



(左) 両県製品リスト作成  
(右) 各種展示会への共同出展



・数値目標:医療分野に活用可能な山梨県企業の高い技術力について、静岡県企業がファルマバレーセンター及びメディカル・デバイス・コリドー推進センターに相談した件数(1年間) 87件(R3.12時点) /100件

### Ⅳ 人材の確保、育成、情報発信

## 医療機器産業技術人材養成講座 (山梨大学)



開催期間: 5月～翌年2月 (80コマ、120時間)  
 原則、毎週火曜日18:00～21:00  
 場所: 山梨大学 融合研究臨床応用推進センター (ほか)  
 内容: 診療科ごとの治療方法と使用する医療機器の開設  
 山梨大学病院内の手術室・ICU等の見学  
 医療機器の体験・操作実習  
 医療機器関連法令の規制等に関する概論  
 大手医療機器メーカー工場見学  
 医療機器製作実習・模擬審査・成果報告会 等  
 講師: 学内外の講師を招聘



H27～ 医療機器制作実習 試作品 (例)



- ・R3年度22名修了予定(H27～R2年度 計118名修了)
- ・ファルマバレーセンターでの遠隔受講及び同センターのオンライン視察を実施
- ・R4年度より、沼津高専F-metと同様、認定講習による資格要件緩和が適用される見込

## IV 人材の確保、育成、情報発信 取組の情報発信

### <県民向け> 取組成果のメディア掲載

- 工場新設（サンスター）、マザーズ上場（オキサイド）等、話題性のある情報から、コリドー構想や製品開発、OEM・部材供給等の成果を地元メディアを中心に情報発信

### <企業向け> 県内企業カルテ公開

- 各企業の保有技術等、県外企業とのマッチングの基礎資料
- コリドー推進センターHPに情報公開

### <県内市町村向け> 出張相談会開催

- 市町村や商工団体とタイアップし、企業向け医療機器産業参入相談会を開催予定



オキサイド Forbes JAPAN受賞記事  
山梨県広報誌にて コリドーの取組紹介



サンスター山梨工場稼働（R3.10～）



- ・医療・デバイス・コリドー関連成果の更なる発信強化が課題
- ・情報発信面で規制のある案件もあるものの、第1期最終年度である次年度に向け、取組成果の広報を強化